

慶應義塾大学医学部・病院在籍
女性医師に対するアンケート調査
第2回 保育アンケート
(平成22年10月施行)

アンケートにご協力いただいた皆様に
深謝します

第2回 院内保育園アンケート

1. 慶應義塾大学医学部・病院（基礎、大学院、研修医を含む）に在籍、勤務する全女性医師（207名）に、部門長を通じてアンケートの回答を依頼した
2. 無記名方式アンケート
2010年10月に配布、回収期間10日間
3. 回答者数157名（回答率77%）
4. 第1回との相違点は、未婚女性も対象としたこと、現在勤務中の人に限定したこと

回答者 部門別内訳

外科系 44

部門	人
眼科	17
産婦人科	10
整形外科	5
耳鼻科	4
外科	4
脳外科	4
歯科口腔外科	2
消化器外科 内視鏡	1
泌尿器科	1
計	44

総計 157名

内科系 86

部門	人
腎内代	18
小児科	9
皮膚科	8
循環器内科	7
リウマチ内科	5
精神 神経科	5
放射線科	5
血液内科	4
リハビリテーション	4
漢方クリニック 漢方センター	3
麻酔科	3
救急科	2
呼吸器内科	2
消化器内科	2
内科	2
腫瘍センター 化学療	1
神経内科	1
臨床検査医学	1
計	86

基礎系 23

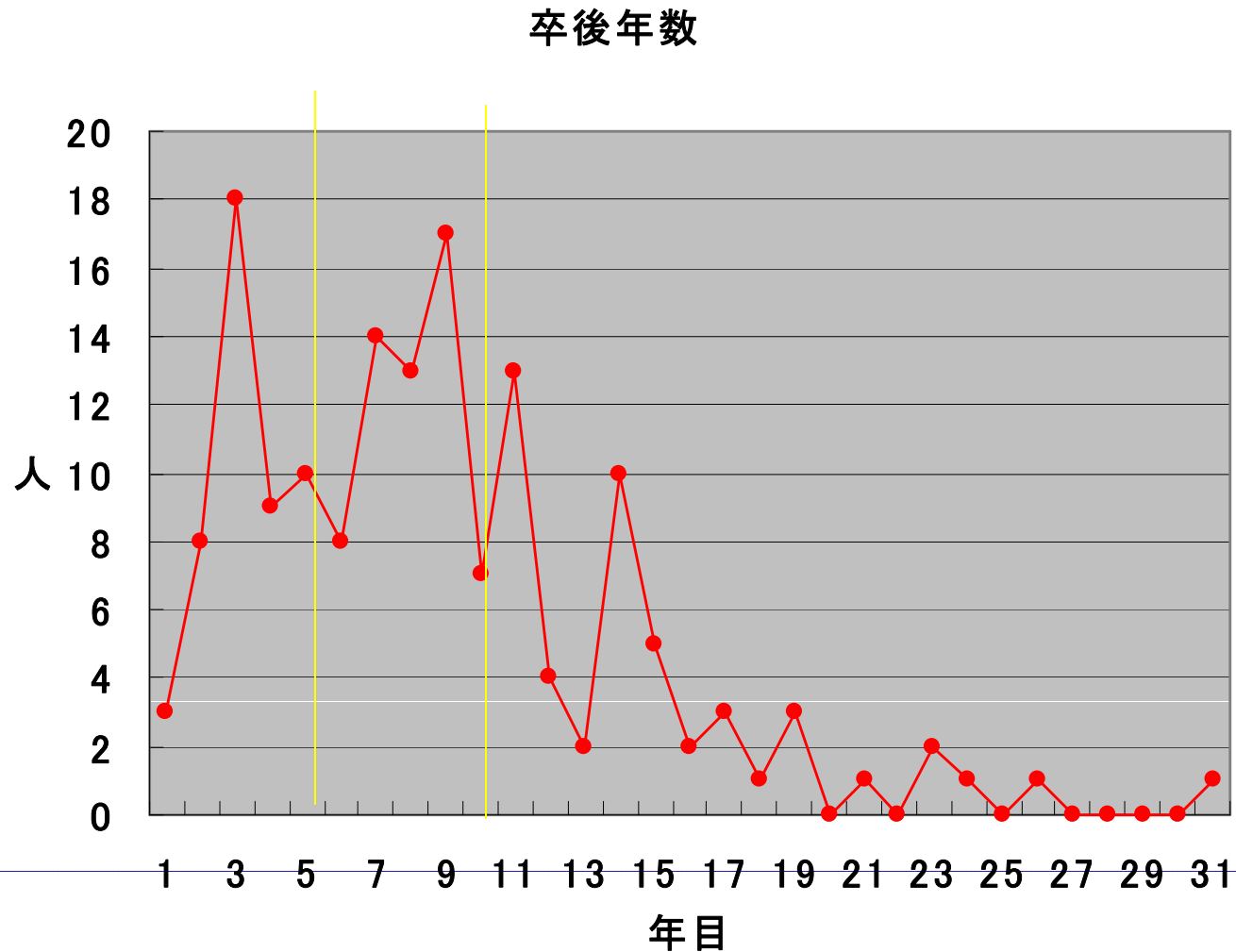
部門	人
病理学教室	6
発生 分化生物科	5
解剖学教室	4
クリニカルリサーチセンター	3
医療政策	2
生理学	2
衛生学公衆衛生科	1
計	23

その他 4

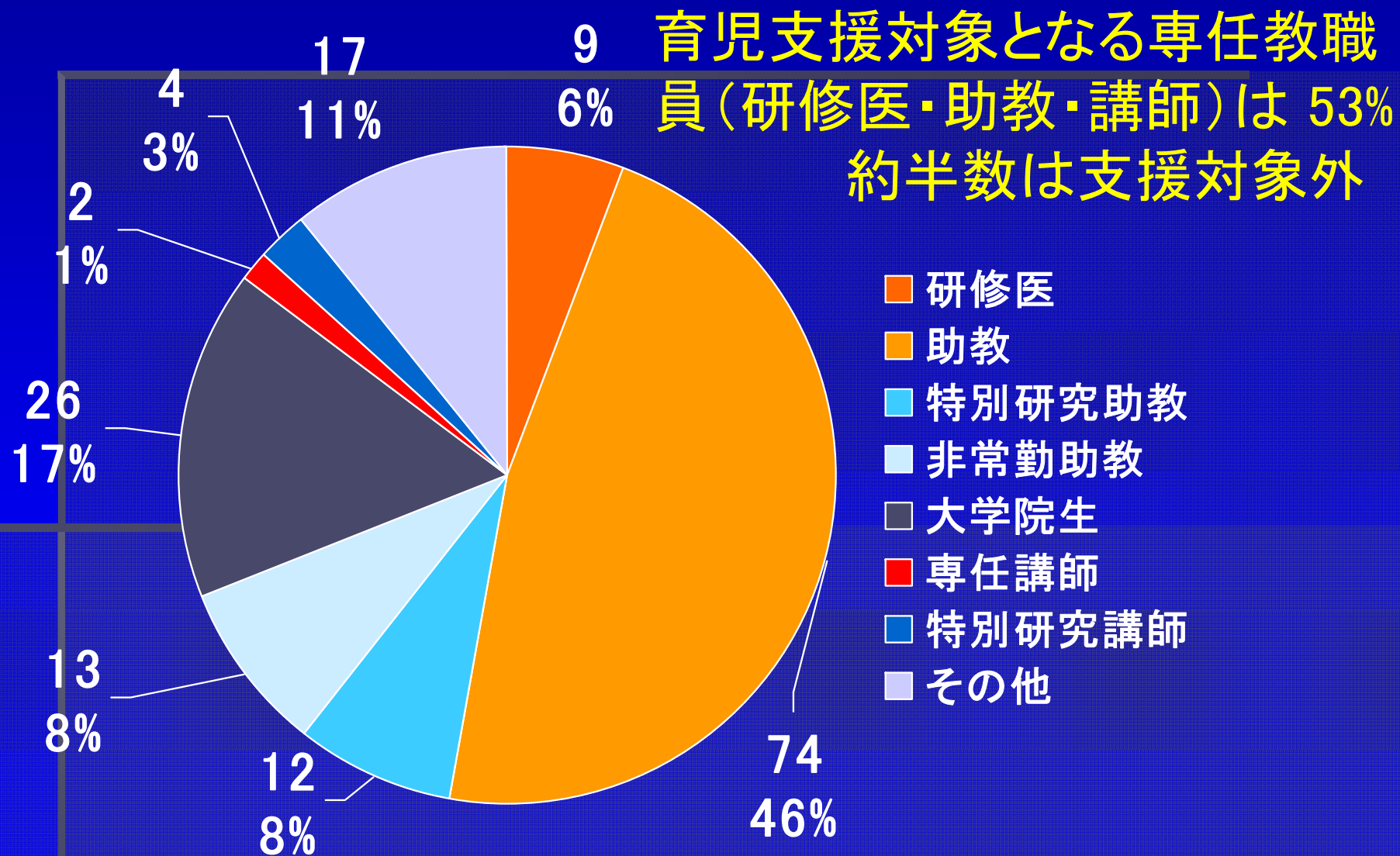
部門	人
卒後臨床研修センター	3
初期研修医	1
計	4

回答者卒後年数

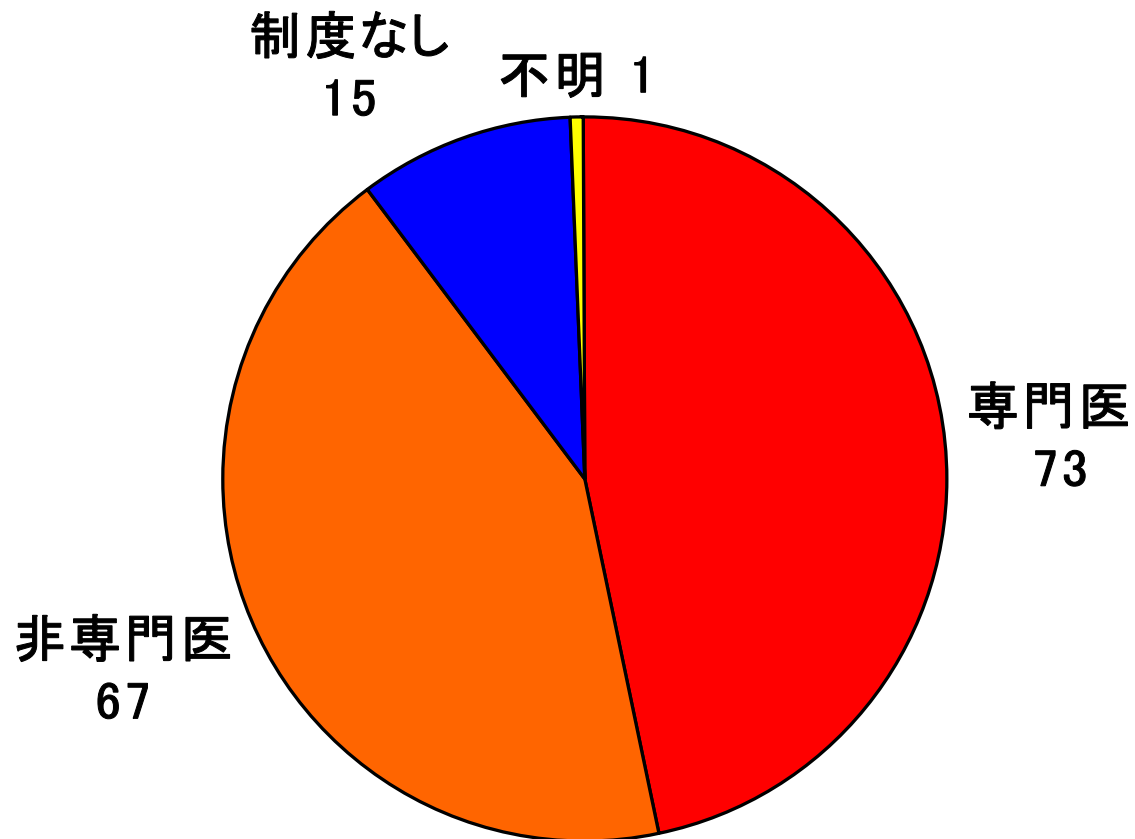
卒後5年まで 1/3
卒後10年目まで 2/3



回答者の職位 (N=157)

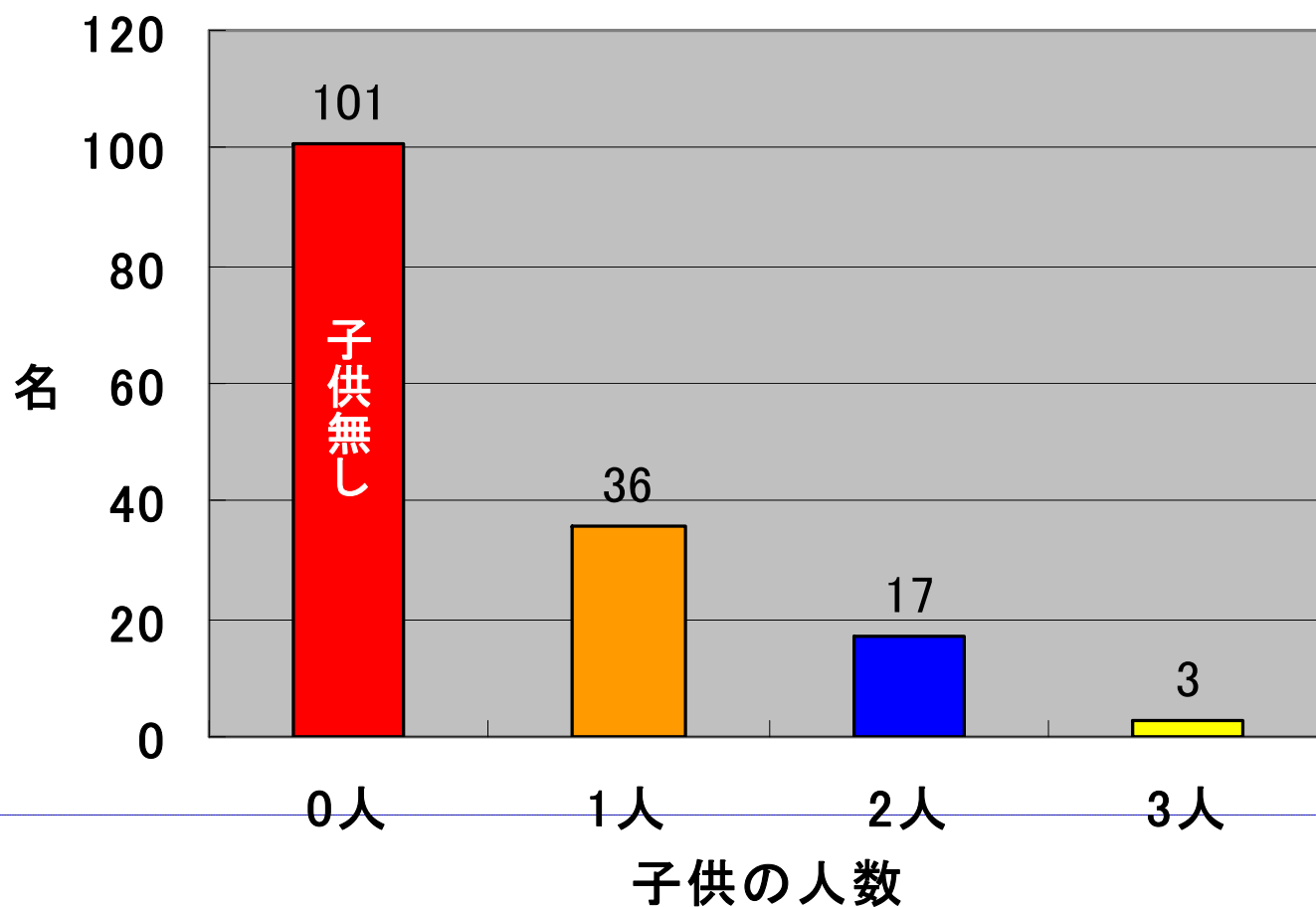


回答者専門医の有無 (N=156)



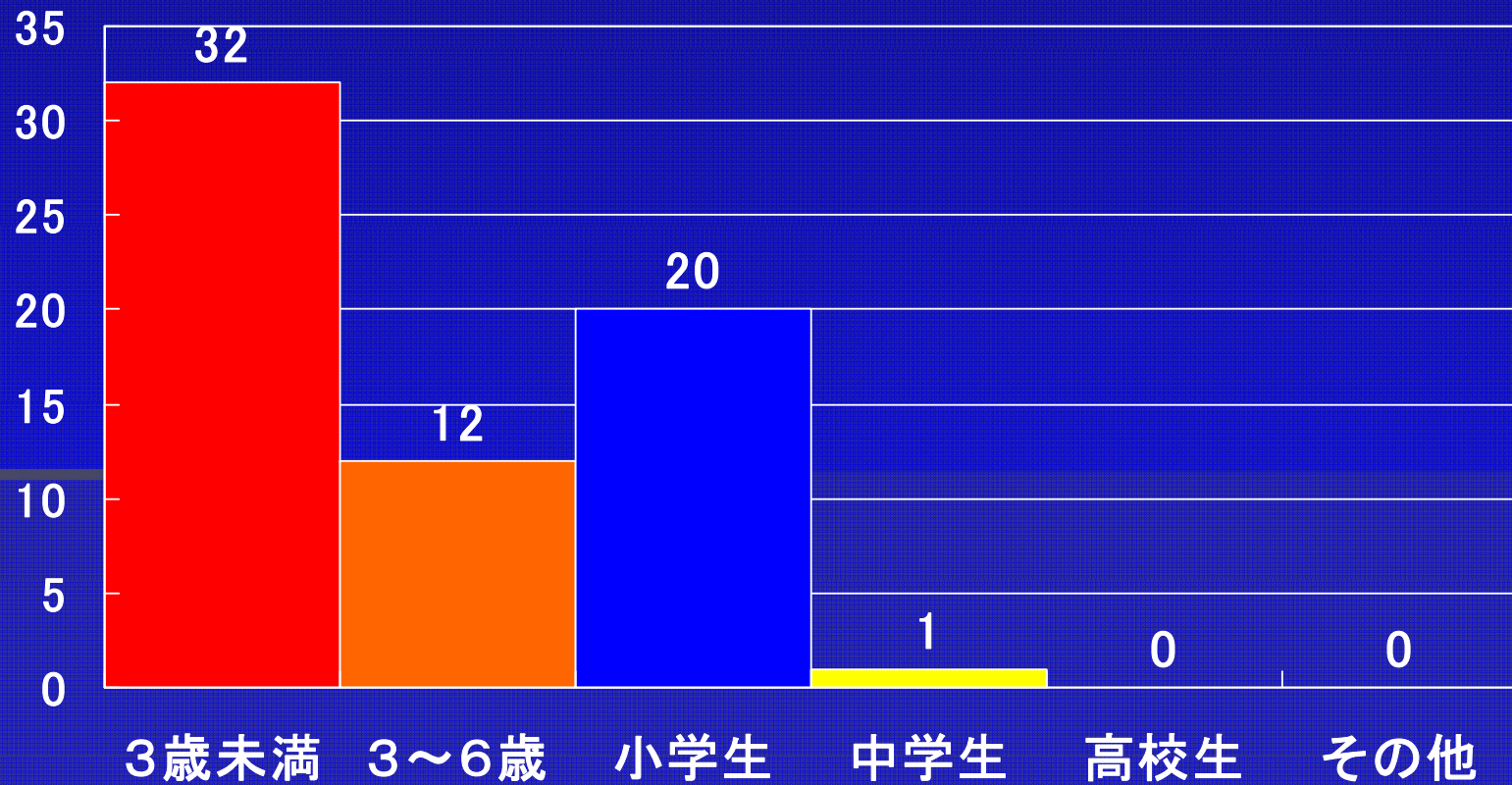
子供の人数(N=157)

子供がいる女性医師は1/3

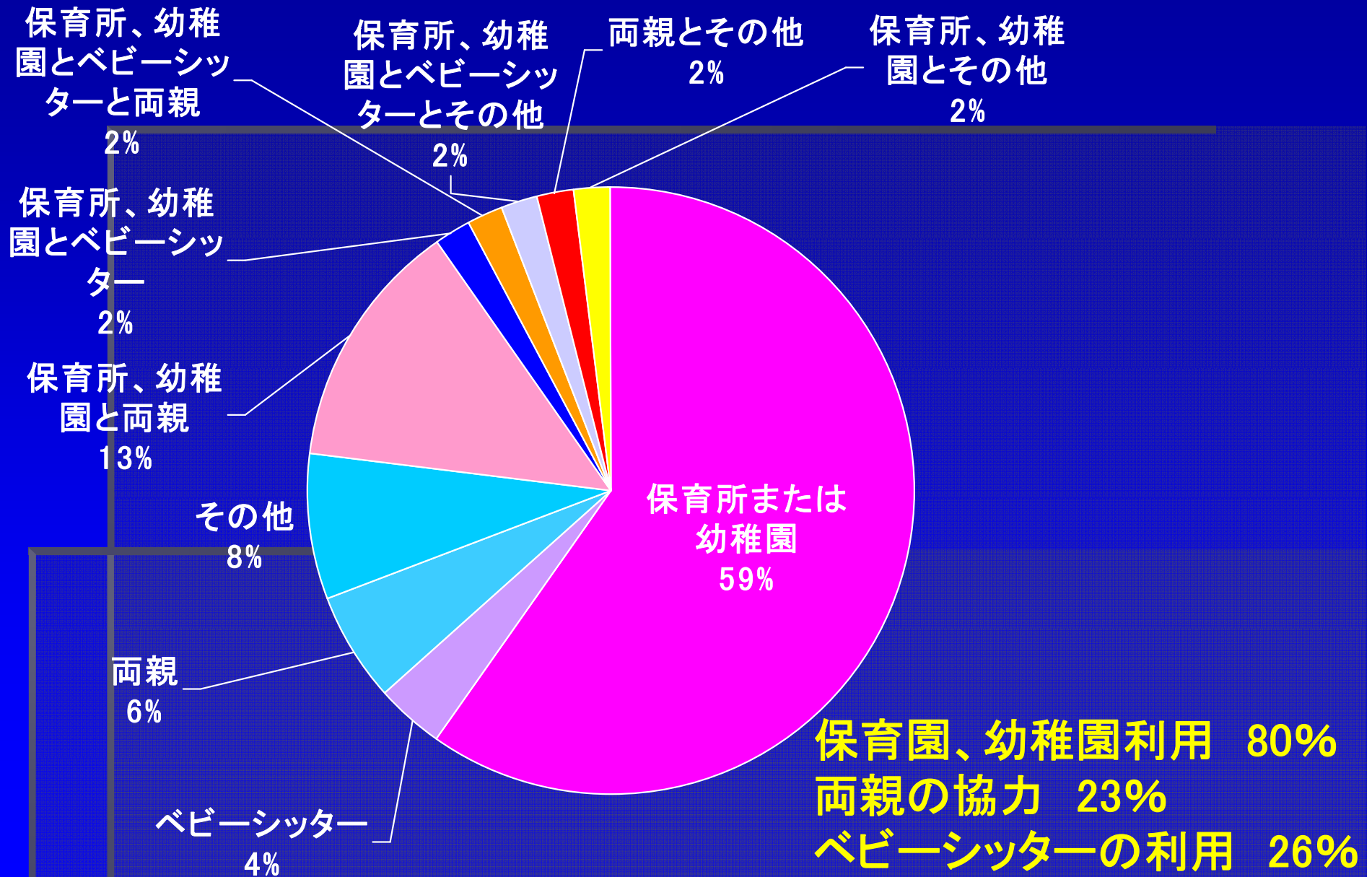


子供の年齢層 (N=65)

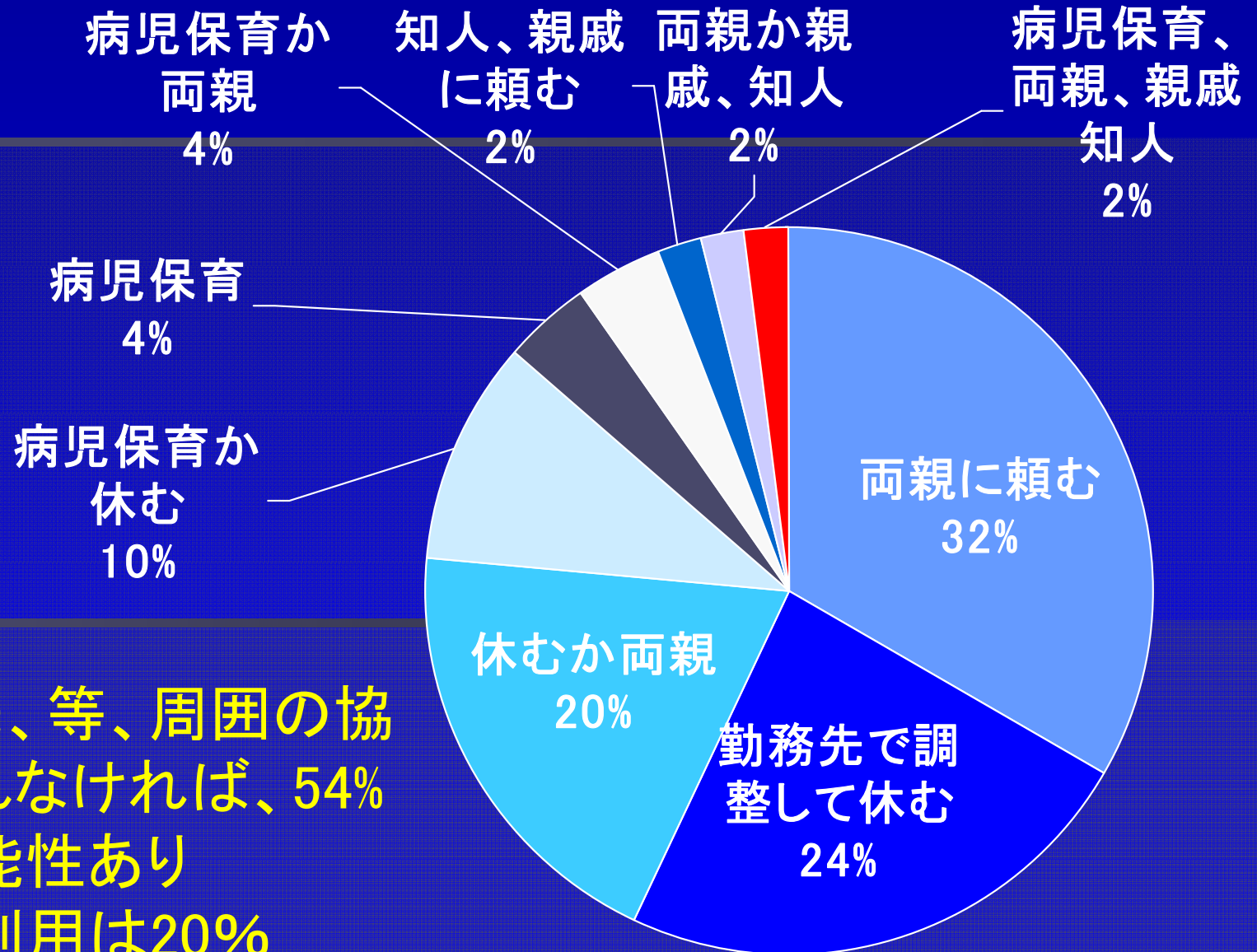
未就学児を持つ人が 68%



勤務中、子供はどうしている？ (N=52)

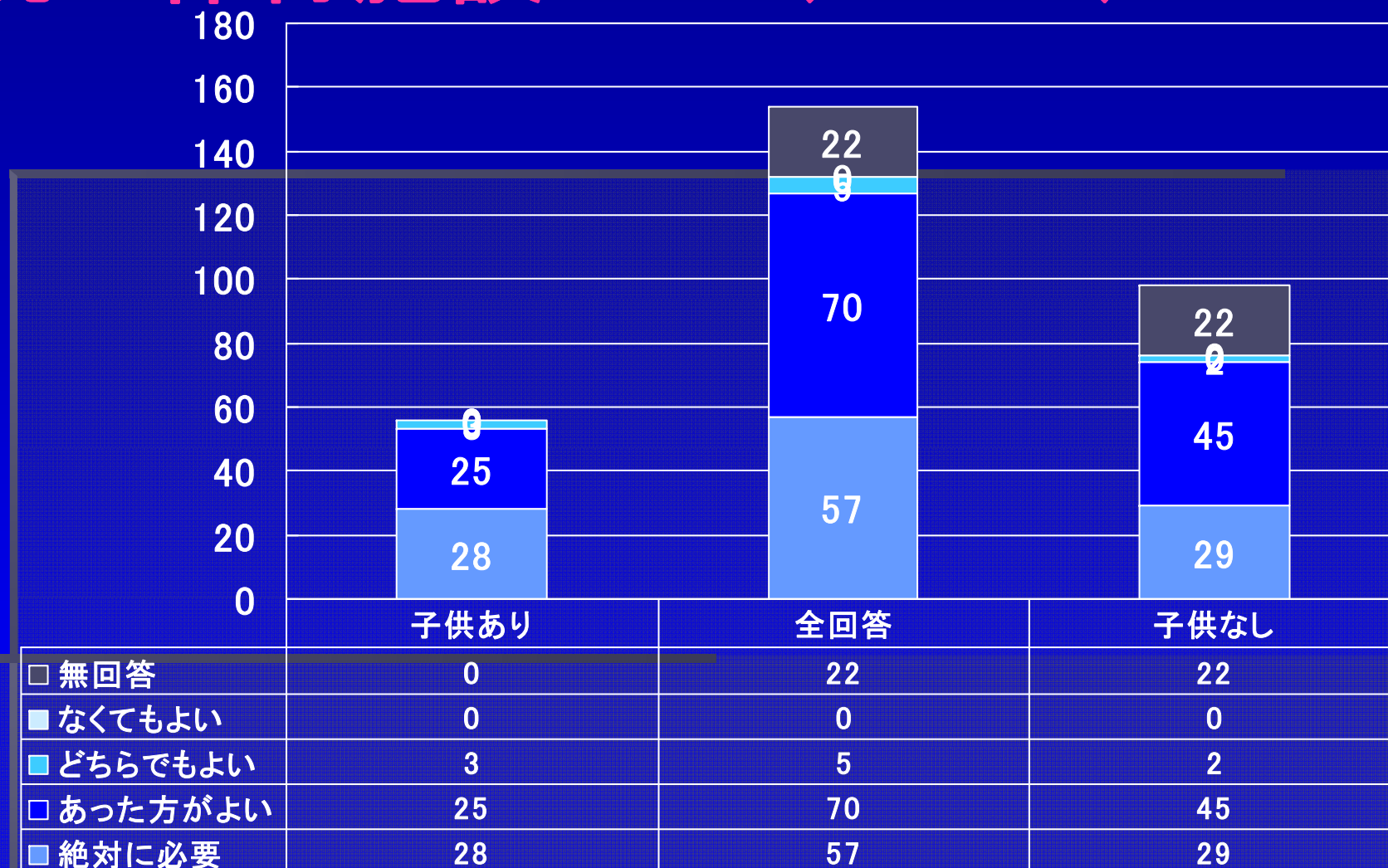


子供が病気の時はどうしている？ (N=51)



親、勤務先、等、周囲の協力が得られなければ、54%は休む可能性あり
病児保育利用は20%

院内保育施設は？ (N=154)

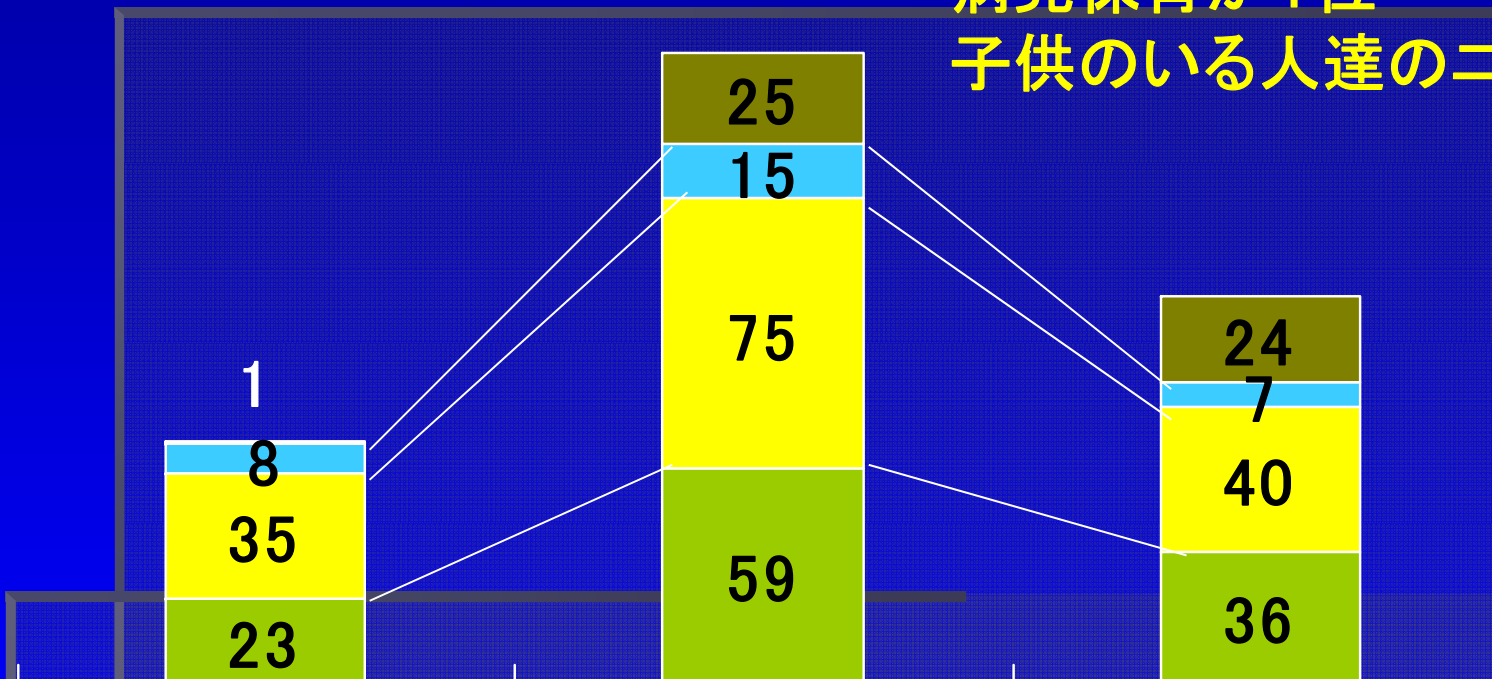


なくてよい、の回答は皆無
子供のいる人達の必要性は高い

希望する院内保育施設は？ (N=136)

複数回答あり

病児保育が1位
子供のいる人達のニーズは高い



子供あり

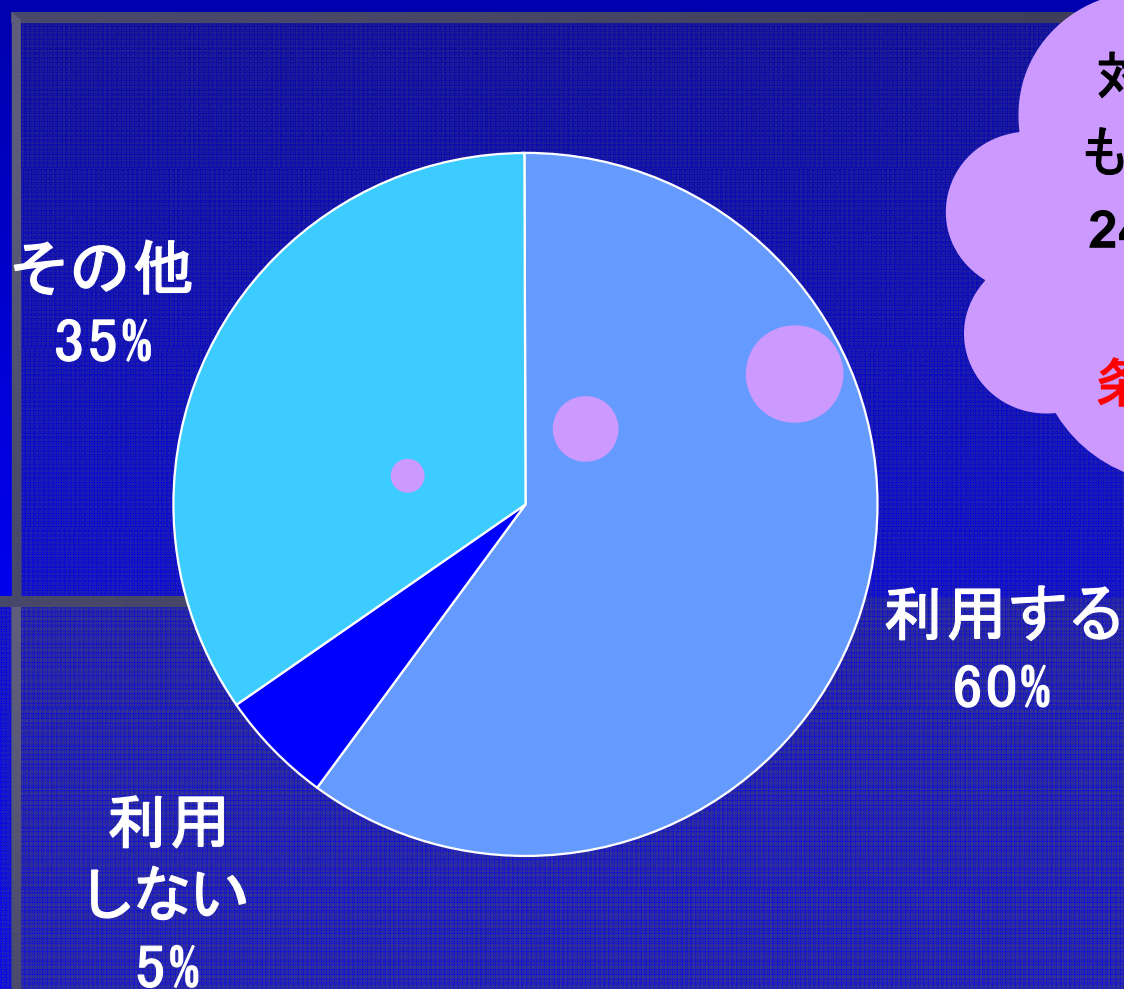
全回答

子供なし

■ 通常保育 ■ 病児保育 ■ 一時保育 ■ 回答なし

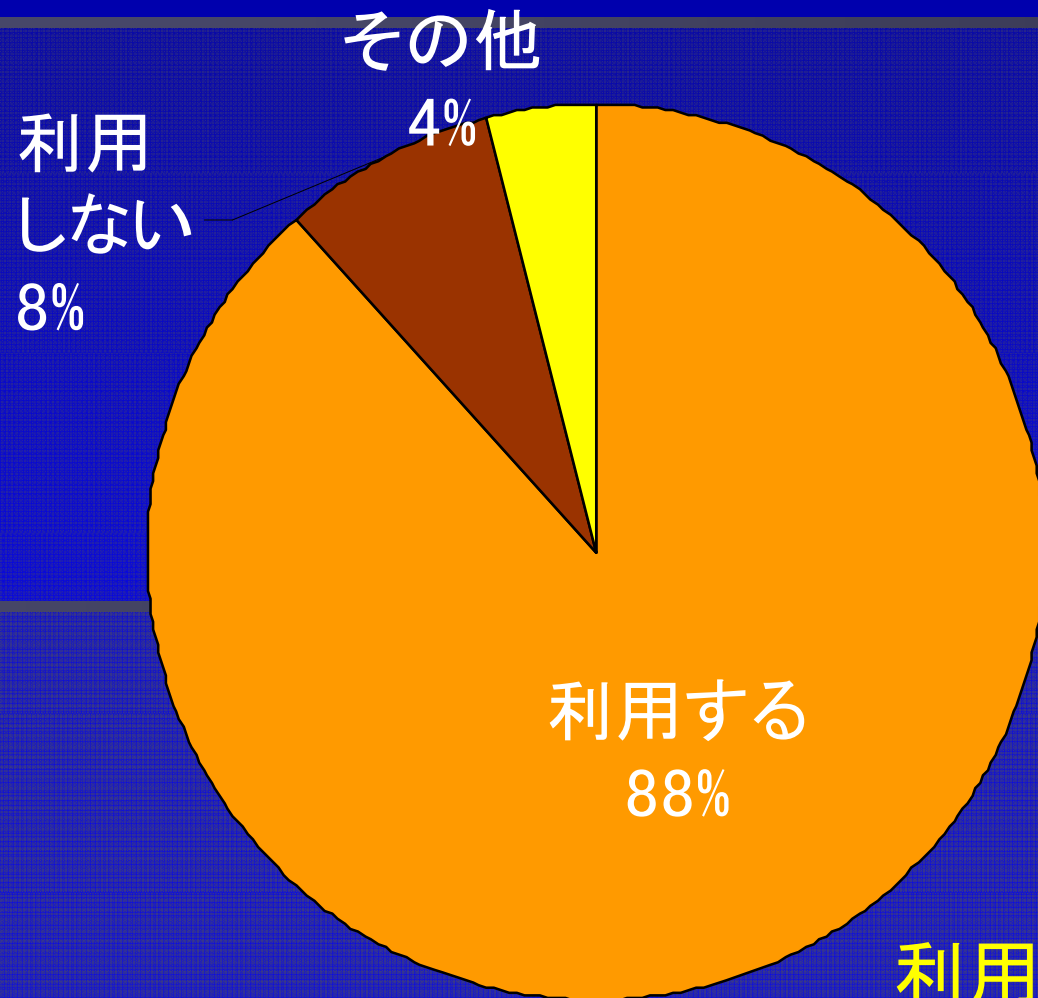
院内保育施設を利用するか？ (N=130)

利用率は95%！ただし……



対象(専任職員以外も含む)、種類(病児・24時間・待機児童)、利用料など
条件によっては利用する

慶應と連携していれば敷地外でも利用する？ (N=130)



利用率は約90%！

まとめ

- 慶應義塾大学医学部・病院に在籍、勤務する全女性医師を対象として、保育に関するアンケート調査を行った。
- 回答率は77%(157名)、うち、2/3は卒後10年以内、子供のいる者は1/3であった。
- 慶應義塾の保育支援制度は専任教職員のみが対象であり、回答者における利用率は1割であった。
- 大学病院と連携する病児保育のニーズが最も高く、人材確保、医師の労働条件改善のために必要と考えられた。

付：慶應義塾大学保育支援の現況

(注：赤字は2010.10月の時点、その後変更あり)

- 保育所(信濃町キャンパス)
 - 病院敷地外、マンション半地下
 - 対象は専任教職員のみ
 - 業者委託、利用者負担月40000円
 - 定員15名、利用者7～15名、70%以上が医師
- 慶應義塾WLB支援プラン(22年度終了)(湘南藤沢キャンパス)
 - 派遣型保育支援(病児、一時)
 - 月会費10000円＋2回目以降の利用料は利用者負担
 - 3年間の利用者は4名、うち医学部3名